

## 持続可能な地域社会を目指した湿地保全活動とコウノトリ米の広報活動

近畿大学附属豊岡高等学校「鶴部 (toriboo!)」

### はじめに

私たち鶴部（トリブ）は、豊岡市のシンボルであるコウノトリの野生復帰活動に則した自分たちができる地域貢献活動は何かを考え活動しています。地域や他府県の方々、同世代の学生と交流することで自分たちの教養を高め、自然と触れ合うことで環境保全の意識啓発に努めています。また、コウノトリ米の消費を増やすことで、安心安全の環境にやさしい農法で栽培されたお米の生産向上を図っています。

### 方法

環境保全活動の一環として、かつてコウノトリが餌場として好み、人とコウノトリが共生を象徴する場所として知られた田結地区をフィールドに湿地保全活動（図1）を行っています。湿地を流れる水流の調整、そこに生息する生物の調査を適宜行い、生物多様性の維持を図っています。また、コウノトリ米の販路拡大については地域のイベント「豊岡演



写真1 田結湿地保全活動



写真2 豊岡演劇祭 2020

劇祭 2020（図2）」で店舗を出し、一般の方々にコウノトリのストーリーを交えたその魅力について話をし、安心安全のお米と題して幸運のお守りづくりのワークショップを実施、コウノトリ米を実際に手に取ってもらえた。

### 結果と考察

このコロナ禍のため、普段通りにいかないことが多く、データもまとめ切れていないので載せられるものがないが、地域の人たちと手を携え活動していくことの大切さを改めて感じられた。保全活動では、気候の変化に応じた保全の方法を学び、生息する動植物の調査を行った結果、例年通りの種類と個体数を確認できた。また、コウノトリ米の消費拡大については大きな変化は見られなかったものの、こうした活動は継続して行い、改善を重ねながらより良い方法を模索していこうと考えている。